

議員提出議案第7号

2025年大阪・関西万博児童・生徒招待事業の不安要素を払拭することを求める決議

みだしの件について、議会会議規則第13条の規定により提出する。

令和6年9月27日 提出

提出者	熊取町議会議員	文野	慎治
賛成者	熊取町議会議員	坂上	巳生男
賛成者	熊取町議会議員	坂上	昌史
賛成者	熊取町議会議員	渡辺	豊子
賛成者	熊取町議会議員	田中	圭介
賛成者	熊取町議会議員	石井	一彰

提案理由

大阪府が計画する「2025年日本国際博覧会児童・生徒招待事業」について、保護者や教職員等から、児童・生徒の安全に関して不安の声が高まっている。児童・生徒の安全確保、関係者の不安払拭のため、この決議文を提案する。

2025年大阪・関西万博児童・生徒招待事業の不安要素を払拭することを求める決議

大阪府は、来年4月から10月まで夢洲で開催される大阪・関西万博に4歳から17歳（2025年4月1日時点）までの子どもを無料招待するとしている。

会場となる夢洲は、ゴミの最終処分場として使われてきた土地で、土壌にはダイオキシンやヒ素、PCB、6価クロムが含まれ、地震災害等の際には汚染物質が染み出すおそれがあり、災害時に夢洲へのルートである夢舞大橋と夢咲トンネルが閉鎖されれば、1日の来場者とされる20万人から30万人が孤立してしまう危険性もある。さらに3月28日には夢洲の建設現場でガス爆発事故が発生した。

このような不安要素を抱えた大阪・関西万博へ、大阪府では府内在住の小学生から高校生までの約88万人を対象に、学校教育活動の一環として無料招待を実施するとしている。

学校現場の様々な不安の声を背景に、今年5月1日、大阪府内の各市町村教育長会が「児童・生徒招待事業にかかる要望書」を大阪府教育委員会に提出した。それに対して7月10日大阪府教育委員会は府下43市町村の教育長らに説明を行ったが、①メタンガス爆発への対策②1日1万人と予定されている子どもたちの団体休憩場の確保③開会前に会場の下見ができるのか④バス駐車場からゲートまで1km近い距離があること等の不安要素について、「検討中」「協会へ申し入れている」等々、明確な回答は示されていない。

よって本町議会は、大阪府に対し以下の事項を求め、これを決議する。

1. 大阪府が計画する「2025年日本国際博覧会児童・生徒招待事業」に関する不安要素が払拭されるよう、確かな情報を示し、万全の安全対策を講じること。

以上

令和6年9月27日

大阪府泉南郡熊取町議会